



# 萬鉄五郎と 歩んだ35年

第39回 萬鉄五郎祭式典  
【日時】5月3日【金・祝】14時～14時30分

土澤アートクラフトフェア  
【日時】5月3日【金・祝】・4日【土・祝】10時～16時

i.wate コンテンポラリーアート vol.1

杉本さやか——心象のゆくえ——展  
【日時】4月20日【土】～6月30日【日】9時～16時30分

2019年

4月20日(土)～6月30日(日)

開館時間／8時30分～17時まで(入館は16時30分まで)

休館日／月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日)※4月30日(火)は臨時開館します。

【入館料】一般／500(450)円 高校生／300(250)円 小中学生／200(150)円\* (内は20名以上の団体料金)

【主催】萬鉄五郎記念美術館

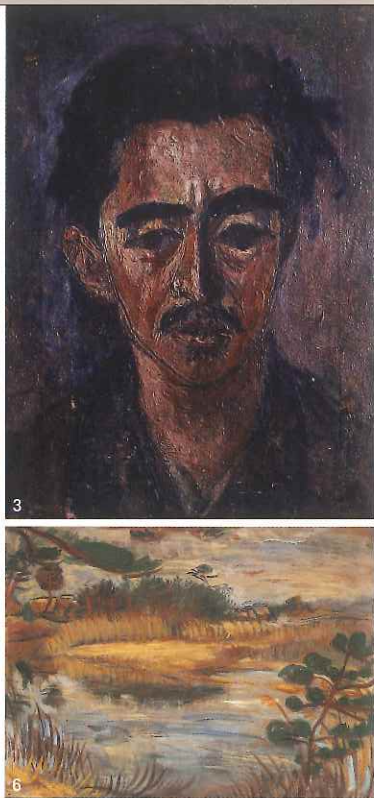
【後援】岩手日報社、岩手日日新聞社、盛岡タイムス社、河北新報社、朝日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオもりおか、奥州エフエム、花巻ケーブルテレビ、えふえむ花巻

萬鉄五郎記念美術館

F.028-0114 館址:岩手県花巻市東和町15-135  
TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405

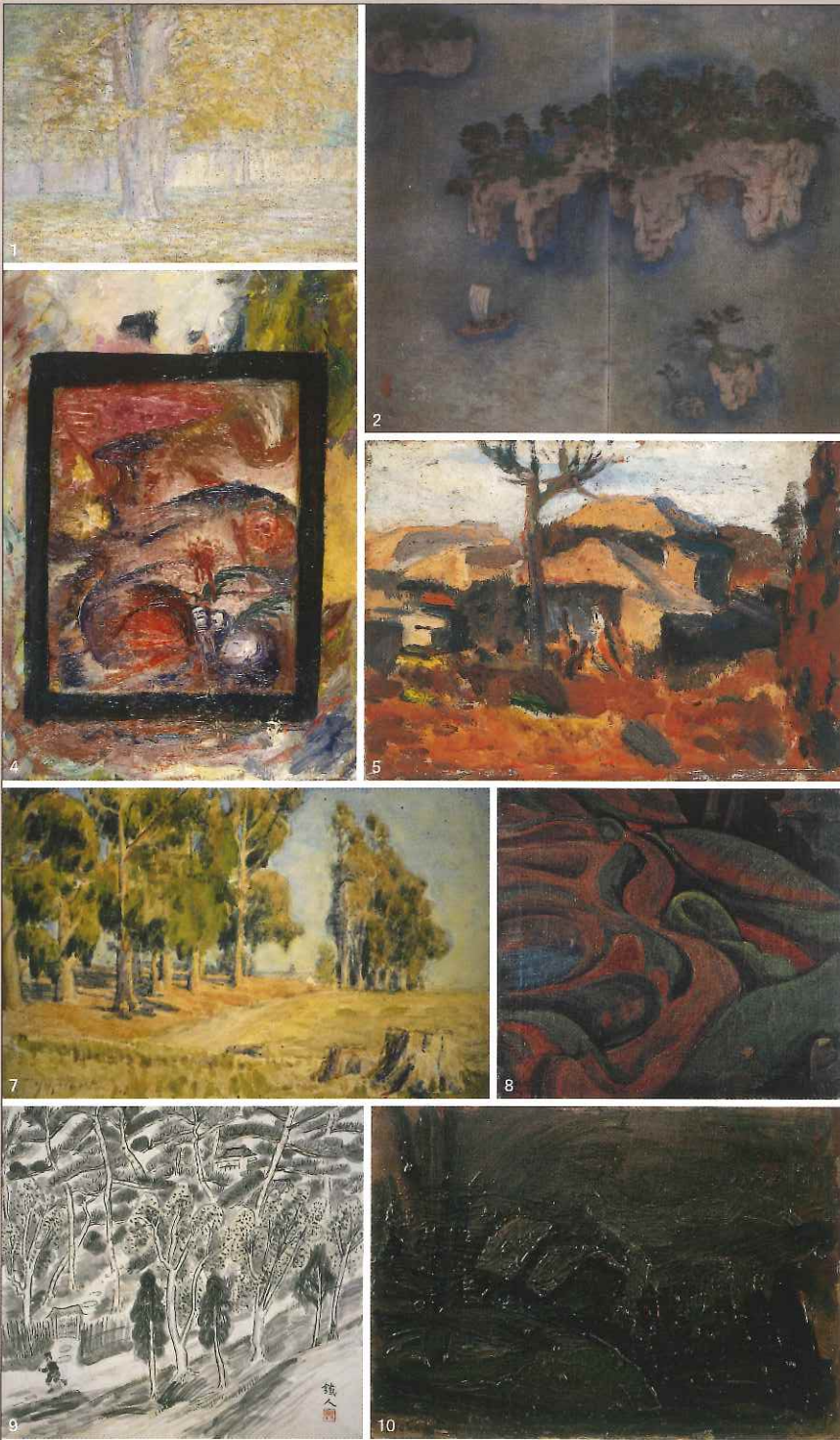
—— 萬鉄五郎記念美術館35周年企画 ——

# 萬鉄五郎と歩んだ35年



2019年5月1日で萬鉄五郎記念美術館は35周年を迎えます。1984年に町立の記念館として産声を上げた当館は、その後、記念美術館として萬鉄五郎が岩手をはじめ近代美術史に果たした役割を調査するとともに、萬を主軸にすえた日本近現代美術を検証する美術館として活動の幅を広げていきました。

この度、35周年を迎えるにあたり、当館の活動のコアである萬頭彰（検証）の変遷と萬の評価の推移を紹介しながら、当館が果たした役割を振り返ってみたいと思います。また、当館の萬鉄五郎作品のコレクションがどのような経緯で充実していったのか、その過程を実作品とともに辿ります。



## 第39回 萬鉄五郎祭

日時／5月3日（金・祝）  
会場／萬鉄五郎記念美術館前

●式典

日時／5月3日（金・祝）14時～14時30分  
会場／土沢幼稚園講堂（萬鉄五郎記念美術館隣）

●写生会 参加者には作品をプリントしたエコバックを差しあげます  
日時／4月21日（日）9時～12時  
会場／萬鉄五郎記念美術館周辺  
参加費／500円（幼児から一般まで）

●写生会作品展示会

日時／5月7日（火）～5月31日（金）9時～21時  
会場／花巻市立東和図書館（花巻市東和町安積6-90）

## 土澤アートクラフトフェア

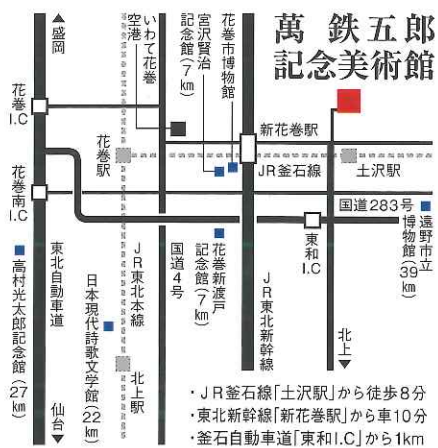
日時／5月3日（金・祝）・4日（土・祝）10時～16時  
会場／萬鉄五郎記念美術館前・土澤商店街

県内外から美術品や工芸品、いろいろな手づくり作品のお店200組が大集合（当日は公共交通機関をご利用下さい）

Waterフロントポラード vol.8-1

## 杉本さやか「心象のゆくえ」展

日時／4月20日（土）～6月30日（日）9時～16時30分  
会場／萬鉄五郎記念美術館「八丁土蔵ギャラリー」  
料金／入場無料



- 1 「盛岡市青柳社風景」 油彩 画布 44.7×59.6cm 1909（明治42）年頃
- 2 「松島海岸」 複製 画布 127.3×145.5cm 1918（大正7）年頃
- 3 「口鼻の多い自画像」 複製 画布 45.8×33.5cm 1914（大正3）年
- 4 「心象風景」 油彩 板 32.0×23.0cm 1912～13（明治45～大正2）年頃
- 5 「農村風景」 油彩 板 15.2×22.2cm 1915（大正4）年頃
- 6 「水のほとり」 油彩 画布 44.0×59.0cm 1924（大正13）年
- 7 「水ノカノ風景」 水彩 紙 15.3×24.3cm 1906（明治39）年
- 8 「丘のみち」 油彩 画布 40.6×45.9cm 1918（大正7）年
- 9 「松林」 紙本彩色 額装 60.5×66.0cm 1922（大正11）年頃
- 10 「夜の雪」 油彩 板 31.8×40.3cm 1916（大正5）年頃

萬鉄五郎記念美術館  
〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135  
TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405